

園から家庭へ

## ある園のたより 4月

新しい年少組のみなさん、ご入園おめでとうございます。そして新しい年長組のみなさん、進級おめでとうございます。

昨日、幼稚園で巣立ったつばめが南風によって帰って来ました。玄関の古巣のいたみぐあいを調べて羽ばたくつばめが、登園して来た年長組の子どもたちに、頭上から嬉しそうに挨拶をしているようにも見えました。小鳥や木々や昆虫、そして子どもたち、生命のあるものが共に育つ春です。

子どもにとって幼稚園生活の始まりは、新しい社会生活の始まりです。家庭で自然に身につけた信頼という人間関係を、先生や友達に発展させるところです。先生や友達と信頼を深め、自分の思う気持ちを素直に表現できることは、子どもが成長して行く上で大切なことです。共に育つという言葉に、友達と深く係わることの中でお互いに自己を育てて行く、といった積極的な意味を見出したいと思えます。大人でいえば、子どもと係わるから母になることができる、といった「自己と他者」との大切な関係です。

(昭和62年4月10日)

川崎若菜幼稚園

